

聖書と伝説

講師

アンドレアス ルスターホルツ

(Andreas Rusterholz)

文学部教授・宗教主事

聖書の物語は単純で、そのため、ときに難解である。古代のユダヤ教徒やキリスト教徒は、その難解さを解消しようと、二次的な伝説を生み出した。古代の三つの例と、近代の一つの例を紹介する。

場所 関西学院会館 翼の間

時間 13:30～15:00

【4回シリーズ】

受講無料・申込必要

第1回

カイン

4月26日(水)

—エバの息子?—

第2回

ヨセフ

5月24日(水)

—夢をひもとく—

第3回

少年イエス

6月28日(水)

—知られざる悪戯っ子—

第4回

サンタクロース

7月19日(水)

—振り回された日本の教会—

受講には事前申込が必要です。受講ご希望の方は右のQRコードもしくはキリスト教と文化研究センター(RCC)のHPからご登録下さい。

https://www.kwansei.ac.jp/c_rcc/forum



※受講時はマスクの着用をお願いします。発熱などの症状がある場合は、受講をご遠慮ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催方法が変更になる可能性があります。変更の場合は、お申込みいただいた方にメールにてご案内を申し上げます。



お問い合わせ：関西学院大学キリスト教と文化研究センター
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL (0798) 54-6019